

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	造林事業		コード	担当課係	産業建設課林政係
事業実施期間			04-01-01-09	担当者	尾野田
総合計画事業(政策)体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	電話	84-2516	
	中項目	豊かな食を支えるまちづくり			
	小項目	林業			
	施策	造林事業の推進			

事業について	
目的	森林環境の保全に資するために、森林整備の推進を図る。
対象(誰のために)	森林所有者、森林利用者
内容	造林事業を実施した者やボランティアによる植栽や保育等した者に対し援助を行う。

事業の結果						
実施項目	17年度					
	回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)
苗木の支給団体数	2	件				
造林事業補助金交付者	0	件				

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	616	国庫補助金等	221	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	646	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	1,262	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.07	人		人		人
結果指標名	苗木の支給団体数					
結果指標量	2					
単位	件					
対前年比	—					
事業費		円		円		円
単当たりコスト①		円		円		円

結果指標名	造林事業補助金交付者					
結果指標量	0					
単位						
対前年比	—					
事業費		円		円		円
単当たりコスト②		円		円		円

事業の成果			
成果指標名	間伐実施率	式又は説明	間伐実施面積/間伐計画面積
成果指標量	17年度		
対前年比	0		
到達目標値	100	到達目標年度	平成25年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等: 備前市造林事業補助金交付要綱
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市民の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	今年度は補助対象者がいなかったため、今後、森林組合等と連携し、事業を増やす必要がある。
評価区分	<A~E> D

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①		結果指標量②
目標値	成果指標量	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	事業内容を周知する		造林事業を行い、森林の整備が図れる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

過去に植林した山林がそのままのため、整備していく必要がある。

県が補助する造林事業に対し、補助金を交付しているが、造林事業者が実施しやすいように見直ししていく必要がある。

市民に事業の内容を情報提供し、周知する必要がある。